

公共工事入札における経営事項審査についての支援

企業紹介

有限会社 ながや電気

- 代表者：宮崎 至
- 所在地：下高井郡野沢温泉村前坂 8157-3
- 従業員数：6名
- 事業内容：電気工事業、家電販売業
- 連絡先：0269-85-2343

支援を受けて

建設業の経歴が浅く知識が不足していたが、経営事項審査を中心に建設業全般にわたり、上席専門経営支援員と面談で、指導をいただき大変参考になった。



宮崎 至 社長

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

有限会社ながや電気は、家電販売から事業を開始し、平成5年に法人成り、平成26年4月に建設業許可を取得し、平成31年4月に最初の許可更新を行った。

社長と息子及び20代の従業員2名で電気工事を請負っている他、家電の販売・修理業務を行っている。他にも野沢温泉村の有線放送業務の委託を請け、他の従業員2名に従事させている。なお、事務業務は社長の妻が行っている。

平成30年度に受注した電気工事の9割が、野沢温泉村発注の公共工事であり、その15～20%がエアコン設置工事であった。公共工事の入札参加のため、経営事項審査（以下、経審）を受けているが、社長は、その内容を十分に理解できていない状況であった。社長が経審の内容を熟知し、評点を上げ、行政機関が定める資格ランクを上げることにより、より発注額の大きい公共工事の入札に参加し、受注増を目指していくことが当社の課題である。

■実施した支援内容

野沢温泉村の公共工事入札制度は、長野県の制度に準じているため、経審に係る資料として、長野県が公開している「経営事項審査申請書作成の手引」を提供し、経営事項審査制度の概要と評点および総合評定値の意味を説明し、評点を上げるためのポイントを説明した。

また、長野県が設定している新客観点数および入札参加資格総合点数について説明し、今年度における当社が有する資格総合点数およびA～Cに区分されている電気・電気通信工事のランクにおいて、当社が位置するランクを説明、ランクアップのためのポイントをアドバイスした。

次に、インターネット上で公開されている経審書類作成および経審の診断ができる無料ソフトの「なんでも経審」を利用し、当社の過去2年分の財務諸表等をもとにシミュレーションを行い、今後、経審の評点をアップさせるための効果的な経営事項を探った。

経審の総合評定値は、完成工事高・自己資本および平均利益額・経営状況・技術職員数および元請完成工事高・社会性等の審査項目の5項目の評点から算出される。その5項目の中で、当社の評定値アップの効果が高い項目をシミュレーションの数値結果で確認した。

支援の結果及び今後の展開等

当社は、経営事項審査申請においては専門家任せで、審査の結果、与えられる評点の意味を十分に理解していない状況であったが、本支援において、シミュレーションにより見える化することで、当社に理解しやすい形で経審に係る知識を深めることができ、今後評定値アップの方向性を確認することができた。

支援を実施して

上席専門経営支援員 内田 希一

当社は、公共工事の受注が売上高の7割を占めている状況で、経審の制度を熟知し、評点および資格点数を上げ、入札参加資格をランクアップさせることが、受注増加に結び付くものである。本支援は、当社にとって非常に有効なものであったと考える。



野沢温泉商工会
小河原貴善 主任経営支援員

